

小山工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	情報処理実習Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0014			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	物質工学科			対象学年	4		
開設期	前期			週時間数	1		
教科書/教材	柴田望洋「新版 明解C言語 入門編」ソフトバンククリエイティブ						
担当教員	笠原 雅人						
到達目標							
プログラムの編集およびコンパイルと実行ができ、基本的な命令（入力出力・演算命令・条件分岐・繰り返し・配列）を用いたプログラムを作成できる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
プログラムの編集およびコンパイルと実行ができ、基本的な命令（入力出力・演算命令・条件分岐・繰り返し・配列）を用いたプログラムを作成できる。		プログラムの編集およびコンパイルと実行が正確にでき、基本的な命令（入力出力・演算命令・条件分岐・繰り返し・配列）を用いたプログラムを正確に作成できる。		プログラムの編集およびコンパイルと実行ができ、基本的な命令（入力出力・演算命令・条件分岐・繰り返し・配列）を用いたプログラムを作成できる。		プログラムの編集およびコンパイルと実行ができず、基本的な命令（入力出力・演算命令・条件分岐・繰り返し・配列）を用いたプログラムを作成できない	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 ⑤ JABEE (C)							
教育方法等							
概要		プログラミングに関する内容をC言語を用いて実施する。					
授業の進め方・方法		主に中間試験，定期試験の平均点で評価する。講義内容に応じた課題を出し、提出を求める。					
注意点		例題を理解したうえで，演習問題を解くこと。					
授業計画							
前期	1stQ	週	授業内容			週ごとの到達目標	
		1週	プログラムの編集およびコンパイル・実行			プログラムの編集およびコンパイル・実行について理解する。	
		2週	変数の使い方			変数の使い方について理解する。	
		3週	データの入出力 (scanf,printf)			データの入出力について理解する。	
		4週	四則演算(+・*/%)			四則演算について理解する。	
		5週	論理演算(><)			論理演算について理解する。	
		6週	プログラムの分岐(if)			プログラムの分岐(if)について理解する。	
		7週	プログラムの分岐(switch)			プログラムの分岐(switch)について理解する。	
	2ndQ	8週	前期中間試験			これまでの内容について理解する。	
		9週	繰り返し(do)			繰り返し(do)について理解する。	
		10週	繰り返し(while)			繰り返し(while)について理解する。	
		11週	繰り返し(for)			繰り返し(for)について理解する。	
		12週	多重ループ(forなど)			多重ループ(forなど)について理解する。	
		13週	配列とfor文			配列とfor文について理解する。	
		14週	配列の操作(初期化, コピー, 演算)			配列の操作(初期化, コピー, 演算)について理解する。	
		15週	多次元配列			多次元配列について理解する。	
16週	前期定期試験			これまでの内容について理解する。			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	情報リテラシー	情報リテラシー	情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を活用できる。	3	前1	
				論理演算と進数変換の仕組みを用いて基本的な演算ができる。	3	前1	
				コンピュータのハードウェアに関する基礎的な知識を活用できる。	3	前1	
				情報伝達システムやインターネットの基本的な仕組みを把握している。	3	前1	
				インターネットの仕組みを理解し、実践的に使用できる。	3	前1	
				情報セキュリティの必要性、様々な脅威の実態とその対策について理解できる。	3	前1	
				個人情報とプライバシー保護の考え方について理解し、正しく実践できる。	3	前1	
				インターネットを用いた犯罪例などを知り、それに対する正しい対処法を実践できる。	3	前1	
				数値計算の基礎が理解できる	3	前4	
				コンピュータにおける初歩的な演算の仕組みを理解できる。	3	前4	
データの型とデータ構造が理解できる				3	前4		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100

基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	100	0	0	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0